

東京兵庫県人会「ふるさとツアー」旅行記

●それは平清盛から始まった

12月2日、3日「ふるさとツアー」に参加しました。初冬の空は青く晴れ渡り、総勢9名、新神戸駅前から、バスに乗り込み出発。まずは、大河ドラマ「平清盛」でお馴染みの能福寺（神戸市兵庫区）へ。ここには清盛塚があり、なんと鎌倉長谷大仏の次に大きい大仏様が鎮座しています。清盛茶屋で美味しい惣菜「平安の旨味」とお茶を頂きました。

●コウノトリの郷公園そして玄武洞へ

その後、高速道路で一路但馬へ。姫路城を遙か左へ眺めながら車中で美味しいお弁当。朝来市の近くでは車窓から日本のマチュピチュと言われる竹田城の石垣や松を眺め、朝霧に浮かぶ古城を連想。

午後3時に兵庫県立コウノトリの郷公園へ到着。ちょうどエサの時間で、池のまわりには数十羽のコウノトリが群れ集まり、水中に投げ入れられた生きた魚を捕るのに大騒ぎ。記憶に残る面白い光景でした。

そこからバスで10分、山陰海岸ジオパークの名勝の一つ玄武洞公園に着きました。玄武岩が垂直に、しかも規則正しい縦の割れ目（柱状節理）となり、まるでプリーツスカートがそそり立っているような壁です。自然の造形美にふれ一同びっくり。

●お宿の城崎温泉へ

午後4時過ぎ、夕暮れ迫る城崎温泉に到着。川沿いの柳に宿の明かりが揺れ、情緒豊かな全国的に人気の温泉街です。お宿・西村屋招月庭は山のふもとにありました。湯量たっぷりの温泉につかり、蟹三昧、カラオケで歌も歌って幸せ気分全開、楽しい楽しい夜でした。

●遊覧船でジオパーク鑑の袖を見学

2日目も快晴、盛沢山の観光のため、ちょっと早めの出発。豊岡市日和山の海は、朝霧が島々を覆い隠すように流れ、まるで白龍かと見紛うほど神々しい情景でした。

車窓から青い日本海を見ながら一時間で香美町の港に到着。名物三姉妹が操船する遊覧船で、山陰海岸ジオパークを見学。

日本列島がアジア大陸の一部だった時代の証となる化石や奇岩が点在し、間近に見る雄大な景観は圧巻でした。

●応挙寺（大乘寺）と香住鶴

港から10分で円山応挙の襖絵で有名な大乘寺へ到着。仏間を囲む応挙直筆の松と鶴の襖絵は、なんと元本と複製が一緒に展示されていました。幸運がこんなに何回も続く旅は初めてです。

そして、兵庫五国酒蔵の会の香住鶴福壽蔵を訪問。福本社長のご好意で、工場見学、そして絞りたての新酒をたらふくいただきました。

旨いのなんのって、すっかり酔ってしまいました。

●旅の仕上げは出石（いすし）蕎麦

香住鶴から1時間ほどで最後の訪問地・出石町（豊岡市）に到着。まずは名物の皿そばで昼食。蕎麦も蕎麦つゆも美味で皿の数を積み上げ大満足。

昼食後、出石町内を散策。出石は江戸時代、但馬の中心として栄えた山間の城下町、小京都と呼ぶにふさわしく歴史が今も息づいている落ち着いた雰囲気の魅力です。

今回の旅行のガイドも務めていただいた川崎さん（常任幹事、香美町出身）のご縁で、願成寺に立ち寄って、お茶をご馳走になり、住職のご好意で沢庵禅師直筆のお軸「天地同根万物一対」と長寿を願う「鶴算」を拝見させていただきました。ちなみに願成寺は、2013年大河ドラマ「八重の桜」に登場する川崎尚之助（川崎さんの先祖の一族）の菩提寺とのこと。

●来年のツアー、今から楽しみです

2日間の旅でしたが、今回ほど心に深く残る旅は久しぶりのこと。ご同行の皆様とも親交を深め、大変盛り多い楽しい旅をさせていただきました。兵庫県を一段と近くに感じる事が出来たことも幸せでした。ご手配・ご準備下さった皆さまに心からお礼申し上げます。

来年の「ふるさとツアー」、今から楽しみにしています。

藤原 香子（県人会会員）

平成24年12月



コウノトリの乱舞



ジオパーク鑑の袖・遊覧船で



玄武洞公園・青龍洞にて